



お台場学園だより

令和5年7月号
港区立小中一貫教育校
お台場学園港陽小・港陽中学校
〒135-0091 港区台場1-1-5
小学校 03-5500-2572
中学校 03-5500-2575

授業の教室から

校長

各教室での児童・生徒の授業の様子を見ています。その中からいくつか紹介します。

6年生の社会（歴史）では、「聖徳太子の国づくりについて考える」という授業。前時に各自が調べたことをタブレット端末で共有しながら、十七条の憲法制定や遣唐使の派遣、法隆寺の建立などの事実から考えられる聖徳太子の目指していた国づくりとは何かを話し合い、根拠をもとに発表していました。

1年生の国語では、「鳥のくちばしクイズをつくる」という授業。教科書の鳥のくちばしについての説明文を読み、黒板にプロジェクターで投影された説明的文章の構成を把握した上で、好きな鳥を選び、隣の席の児童と2人で協力して、くちばしの形からわかる鳥の行動や食べ物についてクイズを考えながら、文章に表していました。

2年生の算数では、「数や式の大小を不等号や等号の記号を用いて表す」授業。自分の持っているお金と、買わなければいけないものの他に何が買えるのかを自分事として考え、記号で表したり、結果を判断したりする活動をしていました。

7年生の国語では、「論説文の中心となる部分を読み取り、要旨を把握できるようにする」授業。導入に、電子黒板を用いて有名なルビンの壺を含む3つのだまし絵を提示し、筆者の主張である、1つのものにも複数の見方があり、見方を変えることで他の面に気づき、新しい発見や喜びを味わえることを体感させていました。

全員が一台ずつタブレットを持ち、教室には多機能プロジェクター等が導入され、授業の進め方は、以前とは変わってきています。教師のやることは、教科書にあることを教えることではなく、児童・生徒が自分事として考えたり、調べたり、他の人と話し合っただとめたりする活動を、授業のねらいから逸れないようにサポートしていく役割になっています。

知りたいものがある時、インターネットの検索機能を使えば、様々な情報を得られる時代です。AI（人工知能）を使って文章や絵を作成することもできます。しかし、そのようにして手に入れたものが、正しいのか、社会で認められるものなのか、本当に自分の求めていたものなのかどうかを判断できる力が重要になります。学校のいろいろな授業を通して、児童・生徒にはこのような力を身に付けてほしいと思っています。



パーテーションを戻し、オープンスペースと仕切られた教室

【6月のふれあい月間の取り組みについて】

6月のふれあい(いじめ防止強化)月間では、いじめ、自殺、暴力行為等の問題行動、不登校等の早期発見・早期対応、未然防止等につながる取り組みを行いました。ここで、本校で行った取り組みを以下に紹介します。

- ①「あいさつ運動」・・・小学校代表委員や中学校生徒会児童が中心となり、登校時、元気よく挨拶すると賞状がもらえる取り組みを行いました。自主的にあいさつ運動に参加する児童やボランティアも加わり、明るい挨拶が飛び交いました。挨拶を通して温かい雰囲気を感じることができました。
- ②「ふれあい月間標語」・・・学級で話し合いをし、実態に合った標語を決め、各教室前に掲示しました。
- ③「いじめ防止授業」の実施・・・道徳の授業でいじめをなくするために必要なことを考える学習をしました。

ふれあい月間を通して、友達の大切さや心が通い合えるような挨拶、言葉遣いなどを学び、これからの生活に生かせるよう、小・中学校共に、教職員一同で指導していきます。

(生活指導主任)

放送委員会より

放送委員会は、児童・生徒の学校生活を支える大切な委員会の一つです。

中学生は、朝の放送や昼の放送で「心を楽しませる」放送を心掛けて活動しています。昼の放送では原稿も自分たちで作成、自主的な活動に取り組んでいます。学習成果発表会（体育の部）では、音響とアナウンスも担当しました。後期は、港区総合防災訓練や学習成果発表会舞台の部でも力を発揮します。

小学生は、初めての委員会活動となる5年生や最高学年となった6年生が協力し合いながら取り組んでいます。朝の放送や昼の放送など、正しい機械操作と聞き取りやすい説明を心掛けて活動しています。今後も、放送委員として何ができるのかを考え、放送委員一同心をそろえて活動したいと思います。

(放送委員会担当)

第9学年より

5月28日(日)～30日(火)、奈良・京都を巡る修学旅行に行ってきました。1日目は学年全体で東大寺・薬師寺・法隆寺を見学し、2日目は電車やバス、3日目はタクシーを使って京都市内を班行動しました。2日目は大雨に降られ、慣れない電車やバスに苦戦し、ぐったりした様子でしたが、その分記憶に残る1日になったようです。宿舎も素敵などころで、就寝時間まで友達との交流をめいっぱい楽しんでいました。今後も互いを理解し合い、気遣うことを意識し、最後となる行事や進路決定も学年で支え合いながら乗り越えていきたいと思っています。



(9学年担任)

特別支援教育コーディネーターより

小・中学校では、特別支援教室「そよかぜ教室」を開室しています。特別支援教室とは、生活面や学習面での困難を克服・改善するための指導を行うために設けられた教室です。また、通常の学級の教室内での一斉指導において、苦手な部分を補うために、個別的に支援を行う学習支援員を配置しています。

現在、これらの支援を受けておらず、今後特別支援教室の通級あるいは、学習支援員の配置を希望される保護者の方は、小学校は7月14日(金)、中学校は7月31日(月)までに、担任、特別支援教育コーディネーター、または副校長にご相談ください。

(特別支援教育コーディネーター)

【7・8月の主な行事】

補習教室(中学校) 26日(水)～28日(金)

3日(月)	読書週間始	7月24日(月)～28日(金)	個人面談・補習教室(中学校) 個人面談・夏季水泳(小学校)
13日(木)	読書週間終 保護者会	31日(月)	個人面談(中学校) 夏季水泳(小学校)
18日(火)	全校道徳	8月10日(木)～11日(金)	夏季学園(5年)
19日(水)	給食終	28日(月)～29日(火)	夏季水泳(小学校)
20日(木)	終業式	31日(水)	夏季プール教室(中学校) 夏季休業日終
21日(金)	夏季休業日始 夏季プール教室(中学校)		
21日(金) ～23日(日)	夏季学園(8年)	※8月7日(月)～8月25日(金)は、学校閉庁期間です。	

【スクールカウンセラー 相談曜日】

【スクールソーシャルワーカー 相談曜日】

○火曜日(小学校)

○金曜日(小・中学校)

○金曜日(小・中学校)

○月曜日(中学校)

電話連絡先 ●小学校 03-5500-2572 ●中学校 03-5500-2575

